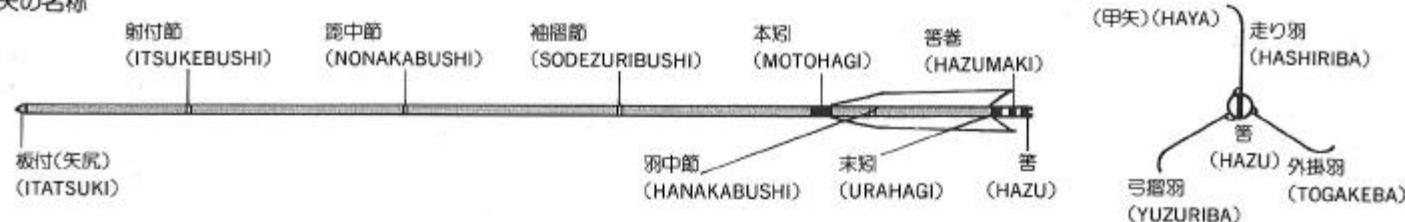


## ●矢の名称



## ●矢の選び方

弓道で使用される矢には、竹製、アルミ製、カーボン製等があります。初心者や学生には損傷が少なく扱いやすいのでアルミ製が普及しています。

自分の矢の長さを決めるには、両手を水平にあげて、のど仮から左手の中指の先迄にプラス15cm位が初心者の矢の長さを決めるだいたいの基準です。射型が決ってたら短かくカットします。

上達してくると、羽根も良い物が付いている矢が欲しくなります。

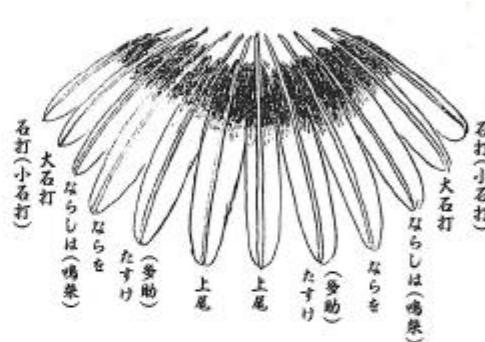
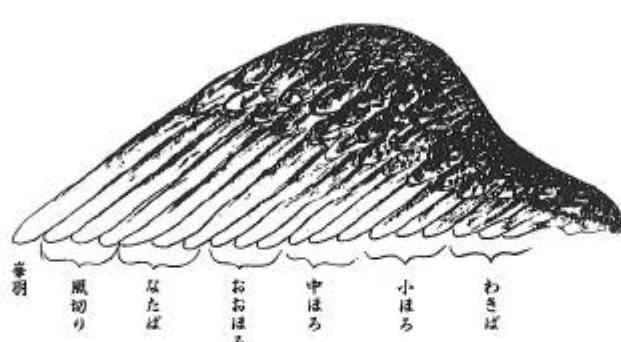
羽根には、大鷹、熊鷹、磯鷹、峰鷹、白鷹が一般的に使用されています。羽根には手羽(翼の羽根)と尾羽(尾の羽根)があり、尾羽の中でも石打と呼ばれる左右両端の2枚の羽根は特に丈夫で上級者向きの高級羽根です。

弓の強さと矢の距(シャフト)の弾力と目方は非常に重大な関係がありますから、御注文の際には矢の長さ、弓の強さ、御予算、その他お好みを詳しくお知らせください。

## ●羽根の種類

古書・流派によって呼び名  
は異なります。

おおとりの尾羽数は14枚で  
羽根も厚いが、その他の鳥は  
羽数はすべて12枚で羽根も  
薄い。



## ■日置流う書より (DECORATIVE FEATHER SAMPLES, NOT AVAILABLE)

